



平成17年12月期 第1四半期財務・業績の概況(連結) 平成17年5月11日

上場会社名 旭硝子株式会社 (コード番号: 5201 東大)
 (URL http://www.agc.co.jp)

代表者 代表取締役・社長執行役員 門松 正宏
 問合せ先責任者 広報・IR室長 川上 真一 TEL: (03)3218-5509

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 法人税等の計上基準等に一部簡便な手続きを用いております。
 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規)10社(除外)12社 持分法(新規)2社(除外)-社
 連結範囲及び持分法の適用に関する事項 連結子会社数 251社 持分法適用会社数 35社

2. 平成17年12月期第1四半期の財務・業績の概況(平成17年1月1日~平成17年3月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第1四半期	358,478	2.3	32,397	8.1	33,724	18.3	23,110	30.4
16年12月期第1四半期	350,253	-	29,976	-	28,517	-	33,222	-
(参考)16年12月期	1,475,726		139,403		135,688		78,287	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年12月期第1四半期	19.89	18.73
16年12月期第1四半期	28.31	26.57
(参考)16年12月期	66.75	63.01

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年12月期第1四半期	1,899,180	720,295	37.9	619.80
16年12月期第1四半期	1,848,789	659,233	35.7	561.70
(参考)16年12月期	1,885,268	699,139	37.1	601.47

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年12月期第1四半期	33,772	30,031	13,334	59,320
16年12月期第1四半期	62,152	33,979	8,166	75,826
(参考)16年12月期	232,888	125,933	98,967	67,943

3. 平成17年12月期の連結業績予想(平成17年1月1日~平成17年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	750,000	67,000	41,000
通期	1,550,000	138,000	83,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 71円42銭

平成16年12月期決算発表時(平成17年2月16日)の予想と変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。

経営成績の進捗に関する定性的情報

1. 当期の概況

当第1四半期（2005年1月1日から2005年3月31日まで）の当社グループを取り巻く事業環境は、日本ではIT・デジタル関連製品を中心とする需要調整に加え、原油や素材の価格の高止まりなど不安定な状況がありましたが、中国をはじめアジア諸国の内需が引き続き順調であったことから、日本からの輸出は好調が持続しました。米国の事業環境は、原油など原燃材料の高騰が企業収益や個人消費に悪影響を及ぼす懸念があったものの、比較的安定して推移しました。ヨーロッパでは、ロシアや東欧で堅調な経済成長がみられました。

このような状況の中で、当社グループは、フラットパネルディスプレイ（FPD）用ガラス基板をはじめとするディスプレイ部材の伸長に注力し、また、建築用ガラス、自動車用ガラス、化学品などで高付加価値品の拡販に努めました。併せて、原油・素材価格の上昇に対応するため、一部製品の価格改定を実施しました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期の売上高は前年同期82億円（2.3%）増の3,585億円、営業利益は同24億円（8.1%）増の324億円、経常利益は同52億円（18.3%）増の337億円となり、四半期純利益は同101億円（30.4%）減の231億円となりました。

2. セグメント別の概況

ガラス事業

ガラス事業は、グローバルに事業を展開する建築用の板ガラス部門と自動車ガラス部門、及び、主に日本国内で事業を展開するガラス繊維製品などのその他ガラス部門から構成されています。

板ガラス部門の出荷量は、厳冬によるヨーロッパの建築市場の冷え込みなどで、前年同期に比べ若干減少しましたが、当社グループの板ガラス製造設備の稼働率はヨーロッパ、北米、アジアともに引き続き高いレベルで推移しました。また、重油や天然ガスの価格高騰に伴うコスト上昇は、当社グループの世界中の製造拠点で実施しているベンチマーキング（各製造拠点の生産性分析と最適な製造プロセスの共有化）を通じたコストダウン施策や原燃料価格の上昇に連携した製品価格の調整によって、ある程度、補うことができました。地域別にみると、北米の高付加価値品の売上が計画を下回りましたが、アジアでは、日本市場の若干の伸び悩みがあったものの、中国、タイ、フィリピンなどの経済成長に後押しされ引き続き順調に推移しました。また、今後予想されるロシアの板ガラス需要の力強い成長に対応するため、3月上旬にモスクワ近郊で新しいフロートガラス製造設備を稼働させました。

自動車ガラス部門は、高付加価値製品の販売が好調に推移したことから売上が若干増加しました。地域別にみると、日本では、自動車生産台数が前年比で若干増えたことに加え高付加価値品の売上増により、自動車ガラスの売上が伸びました。また、日本を除くアジア地域でも、自動車生産台数の増加に伴い、売上が伸長しました。北米においては高付加価値品の成長が売上に寄与しましたが、ヨーロッパの売上は前年に比べ若干減少しました。なお、前年12月に始まったベルギー拠点の事業再構築にともなう労働争議は、当第1四半期に解決しました。

その他ガラス部門は、日本国内の安定した建築資材需要と構造改善施策が貢献し、業績は比較的堅調に推移しました。なお、住宅用外装建材事業を運営する旭ステム外装（株）を、当第1四半期から持分法適用会社に変更しました。

以上の結果から、当第1四半期のガラス事業は、売上高は前年同期比14億円（0.8%）減の1,761億円、営業利益は同8億円（7.9%）減の96億円になりました。

電子・ディスプレイ事業

電子・ディスプレイ事業は、ブラウン管（CRT）用ガラスやフラットパネルディスプレイ（FPD）用ガラス基板を扱うディスプレイ部門と電子部材部門で構成されています。

ディスプレイ部門のうち、CRT用ガラスは中長期的にBRICs（ブラジル、ロシア、インド、中国）など新興諸国のテレビ需要が底堅い一方で、需要はやや調整局面に入り、前年に比べて、パソコン用及びテレビ用ともに低調に推移しました。また、FPD分野では、パソコン用や液晶テレビを中心とした薄型テレビ用パネルの生産増加に対応し、FPD用ガラス基板の需要は堅調に推移しました。

電子部材部門については、携帯電話などに使用される中小型ディスプレイ、PDP用フリットペースト、液晶プロジェクターやデジタルカメラに用いられる光学フィルターなどが、IT・デジタル関連製品の需要調整の影響を強く受けました。

以上の結果から、当第1四半期の電子・ディスプレイ事業は、売上高は前年同期比4.4%増の1,056億円、営業利益は同6億円（4.1%）増の159億円になりました。

化学事業

化学事業は、苛性ソーダや塩ビモノマーをはじめとするクロールアルカリ製品とプロピレンオキシドやポリオールなどのウレタン関連素材からなるクロールアルカリ・ウレタン部門、及び、フッ素系の樹脂、フィルム、ガス・溶剤、撥水撥油剤を中心とするフッ素化学製品と電池材料やファインシリカなどのスペシャルティ製品からなるフッ素化学・スペシャルティ部門から構成されています。

クロールアルカリ・ウレタン部門は、中国や東南アジアの旺盛な需要に支えられ、タイ、インドネシア子会社の販売が引き続き好調に推移し、また日本においても、国内、輸出とも需要が堅調に推移したことから比較的好調でした。また、世界的な原燃材料価格高騰によるコスト上昇を受け、一部製品について前年に引き続き価格改定を実施しました。

フッ素化学・スペシャルティ部門のうち、PDP用光学フィルターの出荷は、不需要期にあたり、やや低調でした。一方、米国のフッ素樹脂事業は引き続き収益改善施策を実施していますが、日本及びヨーロッパのフッ素樹脂およびフッ素ゴムの販売は比較的安定して推移しました。また、スペシャルティ製品の需要は横ばいながら、用途開発や製造コストの低減が貢献し、収益が若干向上しました。

以上の結果から、当第1四半期の化学事業は、売上高は前年同期比5.1%増の731億円、営業利益は同26億円（7.1.2%）増の63億円になりました。

その他の事業

その他の事業は、セラミックス事業、物流・エンジニアリング等のサービス事業から構成されています。

セラミックス事業におけるガラスエンジニアリング及び環境エネルギー分野での日本・中国間の生産体制の連携強化が進みましたが、当第1四半期のその他の事業の売上高は前年同期比2.6%減の153億円、営業利益は同1億円（13.6%）増の6億円になりました。

(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別	当第 1 四半期末 平成 17 年 3 月 31 日現在	前年同四半期末 平成 16 年 3 月 31 日現在	前連結会計年度末 平成 16 年 12 月 31 日現在
科 目			
流 動 資 産	656,050	611,058	648,237
現金及び預金	90,999	89,889	98,648
受取手形及び売掛金	278,435	264,017	280,615
たな卸資産	230,587	201,655	215,782
その他の流動資産	62,853	63,101	59,939
貸倒引当金	6,825	7,605	6,749
固 定 資 産	1,242,795	1,237,199	1,236,681
有形固定資産	865,715	810,562	853,390
無形固定資産	92,977	101,664	94,636
投資有価証券	226,483	270,830	224,557
その他の固定資産	60,563	57,168	66,949
貸倒引当金	2,945	3,026	2,853
繰 延 資 産	333	531	350
資 産 合 計	1,899,180	1,848,789	1,885,268
流 動 負 債	549,720	490,410	549,139
支払債務	236,064	211,734	243,828
社債及び短期借入金	149,922	133,858	145,629
その他の流動負債	163,734	144,818	159,681
固 定 負 債	501,125	586,461	511,682
社債及び長期借入金	372,299	433,398	377,679
その他の固定負債	128,826	153,062	134,002
負 債 合 計	1,050,846	1,076,871	1,060,821
少 数 株 主 持 分	128,037	112,684	125,308
資 本	720,295	659,233	699,139
資本金	90,472	90,472	90,472
資本剰余金	84,627	84,396	84,627
利益剰余金	528,003	473,949	511,749
土地再評価差額金	120	121	120
その他有価証券評価差額金	57,119	60,975	58,641
為替換算調整勘定	26,435	49,409	32,926
自己株式	13,612	1,272	13,546
負債・少数株主持分・資本合計	1,899,180	1,848,789	1,885,268

(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第1四半期 平成17年1月1日～ 平成17年3月31日	前年同四半期 平成16年1月1日～ 平成16年3月31日	前連結会計年度 平成16年1月1日～ 平成16年12月31日
売上高		358,478	350,253	1,475,726
売上原価		265,198	258,084	1,084,549
販売費及び一般管理費		60,882	62,192	251,773
営業利益		32,397	29,976	139,403
営業外収益		6,931	4,151	16,891
受取利息及び配当金		914	799	5,048
持分法による投資利益		746	1,766	5,262
雑収入		5,270	1,584	6,581
営業外費用		5,603	5,609	20,606
支払利息等		3,242	3,062	11,293
雑損失		2,360	2,547	9,313
経常利益		33,724	28,517	135,688
特別利益		2,133	29,212	55,333
特別損失		1,418	2,100	57,011
税金等調整前四半期(当期)純利益		34,440	55,629	134,009
法人税等		9,342	18,127	41,413
少数株主利益		1,987	4,279	14,309
四半期(当期)純利益		23,110	33,222	78,287

(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第1四半期	前年同四半期	前連結会計年度
		平成17年1月1日～ 平成17年3月31日	平成16年1月1日～ 平成16年3月31日	平成16年1月1日～ 平成16年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		34,440	55,629	134,009
減価償却費		27,839	25,428	132,558
固定資産減損		-	-	14,505
連結調整勘定償却額		1,885	1,956	7,964
引当金の増加(減少)額		7,595	14,851	15,654
受取利息及び配当金		914	799	5,048
支払利息		3,242	3,062	11,293
為替差損(差益)		781	342	902
持分法による投資利益		746	1,766	5,262
投資有価証券・固定資産売却損益等		641	2,906	17,034
売上債権の減少(増加)額		638	6,016	10,851
たな卸資産の減少(増加)額		15,865	53	7,038
支払債務の増加(減少)額		5,730	2,557	9,368
その他		4,599	14,000	12,463
小計		55,560	71,574	262,175
利息及び配当金の受取額		1,119	460	6,322
利息の支払額		3,304	2,828	11,332
法人税等の支払額		19,602	7,054	24,276
営業活動によるキャッシュ・フロー		33,772	62,152	232,888
投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の預入による支出		13,105	12,047	30,614
定期預金の払戻による収入		13,110	4,300	8,903
固定資産等の取得による支出		37,715	40,672	161,102
固定資産等の売却による収入		784	1,338	8,828
投資有価証券の取得による支出		207	822	14,970
投資有価証券の売却による収入		7,294	13,067	63,848
その他		192	855	826
投資活動によるキャッシュ・フロー		30,031	33,979	125,933
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金・コマーシャルペーパーの純増加(減少)額		2,746	3,189	3,735
長期借入による収入		7,734	10,181	45,677
長期借入金の返済による支出		13,189	8,406	51,241
社債発行による収入		100	-	9,453
社債の償還による支出		957	932	66,530
子会社社債の取得による支出		-	-	10,805
借入有価証券の売却による収入		-	3,259	3,287
自己株式の取得による支出		96	58	12,407
配当金の支払額		9,669	9,027	20,096
その他		1	7	39
財務活動によるキャッシュ・フロー		13,334	8,166	98,967
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,199	95	1,521
現金及び現金同等物の増加(減少)額		8,393	19,910	9,508
現金及び現金同等物の期首残高		67,943	55,915	55,915
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の残高調整		230	0	2,519
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		59,320	75,826	67,943

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期(平成17年1月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円)

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	175,043	104,774	72,197	6,462	358,478	-	358,478
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,051	874	934	8,863	11,723	(11,723)	-
計	176,094	105,648	73,132	15,326	370,201	(11,723)	358,478
営業費用	166,469	89,790	66,814	14,715	337,790	(11,709)	326,080
営業利益	9,625	15,858	6,317	610	32,411	(14)	32,397

前年同四半期(平成16年1月1日～平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	176,681	100,958	66,109	6,503	350,253	-	350,253
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	808	251	1,902	11,435	14,398	(14,398)	-
計	177,490	101,210	68,012	17,938	364,651	(14,398)	350,253
営業費用	167,038	85,983	64,321	17,401	334,744	(14,467)	320,277
営業利益	10,451	15,227	3,690	537	29,907	68	29,976

2. 所在地別セグメント情報

当第1四半期(平成17年1月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	163,035	78,551	45,126	71,764	358,478	-	358,478
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	37,577	14,471	2,229	464	54,743	(54,743)	-
計	200,613	93,023	47,356	72,229	413,221	(54,743)	358,478
営業費用	183,382	79,586	48,208	68,871	380,049	(53,968)	326,080
営業利益又は営業損失()	17,230	13,436	852	3,357	33,172	(775)	32,397

前年同四半期(平成16年1月1日～平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	172,430	61,228	46,447	70,146	350,253	-	350,253
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,819	15,354	1,867	586	53,627	(53,627)	-
計	208,249	76,582	48,315	70,732	403,881	(53,627)	350,253
営業費用	195,702	63,250	49,474	64,923	373,350	(53,073)	320,277
営業利益又は営業損失()	12,547	13,332	1,158	5,809	30,530	(554)	29,976

補足資料

1. 当期の業績

(金額単位：億円)

	平成 17 年度第 1 四半期	平成 16 年度第 1 四半期
売上高	3,585	3,503
営業利益	324	300
経常利益	337	285
当期純利益	231	332
株主資本	7,203	6,592
1 株当たり当期純利益	19.89	28.31

2. 主要項目

(金額単位：億円)

	平成 17 年度第 1 四半期	平成 16 年度第 1 四半期
設備投資	355	383
減価償却費	278	254
有利子負債残高	5,231	5,673
金融収支	23	23
D / E 比率	0.62	0.73

3. 平成 17 年 12 月期の業績予想等

(平成 16 年 12 月期決算発表時 (平成 17 年 2 月 16 日) の予想と変更はありません)

(単位：億円)

	通期	中間期
売上高	15,500	7,500
営業利益	1,450	700
経常利益	1,380	670
当期純利益	830	410
設備投資額	2,000	
減価償却費	1,300	
研究開発費	350	

4. 事業セグメント別業績予想

(平成 16 年 12 月期決算発表時 (平成 17 年 2 月 16 日) の予想と変更はありません)

(単位：億円)

	売上 (通期)	営業利益 (通期)
ガラス	7,400	510
電子・ディスプレイ	5,000	750
化学	2,950	170
その他	750	20
消去	600	0
合計	15,500	1,450

5. 為替レート

	平成 17 年度第 1 四半期		平成 16 年度第 1 四半期		平成 16 年度通期		平成 17 年度通期
	期中平均	期末	期中平均	期末	期中平均	期末	予想
円/ドル	105.25	107.39	107.13	105.69	108.07	104.21	105
円/ユーロ	137.62	138.87	132.33	128.88	134.41	141.61	130